


『普通の人々』 原題 <i>Ordinary People</i> 1980 年	執筆：清水 純子
制作国	アメリカ
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ：監督 ロバート・レッドフォード/ 脚本：アルヴィン・サージェント / 製作：ロナルド・L・シュワリー/ キャスト：ドナルド・サザーランド：カルビン・ジャレット/メアリー・タイラー・ムーア：ベス・ジャレット/ティモシー・ハットン：コンラッド・ジャレット/ ジャド・ハーシュ：タイロン・バーガー医師 / エリザベス・マクガヴァン：ジェニン・プラット/
画像	
カラー・モノクロ	カラー
時間	124 分
ストーリー	シカゴ郊外の高級住宅地に住む弁護士のジャレット一家の平安な生活は、長男バックがボート事故で亡くなったことをきっかけに崩れてゆく。バックと一緒にボートに乗っていて助かった次男コンラッド (ティモシー・ハットン) は、罪悪感から自殺を図り、父親 (ドナルド・サザーランド) の早期発見によって一命をとりとめる。精神を病むコンラッドと心が通わない母親 (メアリー・タイラー・ムーア) は、夫とも意見が合わなくなっていく。夫に「あなたが誰だかわからなくなった、僕の人生は空虚だ」と言われた妻は家を出る。後に残された父と息子は、愛と信頼を確認し合って抱き合う。感受性豊かだが心を病むコンラッド、完璧主義でエゴが強く周囲と調和しない母、周りに気を使いすぎる父、それぞれの個性が協調して生きていくことのむずかしさ、個人を主体にするゆえにもろいアメリカの家族関係を描く。
時代設定	現代 (おそらく 20 世紀後半)
場所	シカゴ郊外の一戸建て高級住宅地
社会背景	アメリカの WASP (ホワイト・アングロサクソン・プロテスタント) の知的エリート家庭に起きた家庭崩壊、夫婦の最大の基盤を愛と信頼に置くアメリカの価値観ゆえの崩壊、アメリカの個人主義による親子と夫婦の構図、理想を失って壊れてゆくアメリカの家族関係のむろさ。
文化的背景	アメリカのエリート家庭崩壊の複雑な要因 (親子の断絶、夫婦間の意思疎通のむずかしさ、兄弟関係)、アメリカ社会における精神科医の役割 (人間関係解決のアドバイスおよび情緒の安定を与える)。
使用言語	アメリカ英語 教育ある知的階級のわかりやすい英語

テーマ	相手を理解し受け入れることのむずかしさ、愛することのむずかしさ。善意ある普通の人々の家庭崩壊の様子。
みどころ	俳優として有名なロバート・レッドフォードの監督によりアカデミー監督賞と作品賞を受賞。ドナルド・サザーランド（父）、ティモシー・ハットン（息子）、メアリー・タイラー・ムア（母）の抑制のきいた繊細で説得力ある演技。
印象深いせりふ	JEANNINE: Do you think people are punished for the things they do? CONRAD: You mean by God? JEANNINE: Yeah. CONRAD: Mmm, I don't believe in God. JEANNINE: Not at all? CONRAD: No. Well, it's not a question of degree. Either you do or you don't believe in God. CONRAD: So you're afraid he'll punish you for something you did? JEANNINE: I've done a lot of things I'm ashamed of. CONRAD: Yeah? So have I. (She looks up at him, then at his wrists.) JEANNINE: Did it hurt? CONRAD: No, I dunno, I don't remember really. JEANNINE: You don't want to talk about it? CONRAD: Ah, I don't know... I've never really talked about it. To doctors, but not to anyone else. You're the first who's asked. JEANNINE: Why did you do it? CONRAD: Uh... I don't know. It was like falling into a hole. It was like falling into a hole, and it keeps getting bigger and bigger, and you can't get out, and then, all of a sudden, it's inside...and you're the hole, and you're trapped, and it's all over. Something like that. And it's not really scary, except it is when you think back on it. 'Cause you know what you were feeling strange and new...
授業教材用 メリット	日常会話がきれいな英語で学べる（学生同士の会話、デートの時の会話、夫婦の会話）、生きることの意味を考えさせる、アメリカ的な家族観が学べる。アメリカの個人主義を知る。人間関係のむずかしさ、危うさの普遍性も理解できる。
授業教材用 デメリット	アメリカの家族の在り方（夫婦関係、親子関係）が日本とは違うのでわかりにくい、子供本位の日本の家族とは違ってアメリカは夫婦単位、しかし夫婦もお互いが理解できなくなるとすぐに離れていくのが日本とは違う。
映像入手元	パラマウント ホーム エンタテインメント ジャパン
原作の有無	ジュディス・ゲスト
支持反応	metacritic 評価（批評家 85、観客 8.3） Rotten Tomatoes 評価（批評家 90、観客 88）
キーワード	ワスパ（WASP）、シカゴ、高級住宅地、エリート、弁護士、家庭、個人主義、理想、親子、夫婦、自殺、コミュニケーション。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。